

サルモネラ用寒天培地 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

この寒天培地は、サルモネラをシトロバクター、大腸菌、エンテロバクター、クレブシエラ等の菌から選択的に検出ができるようにしたものです。培養後サルモネラは黒色のコロニーを形成し、培地色は赤色を呈します。その他の菌は発育したときにはコロニーの色は透明で培地は緑色を呈します。シトロバクターフロインディイも黒色のコロニーを形成しますが、培地は緑色を呈します。

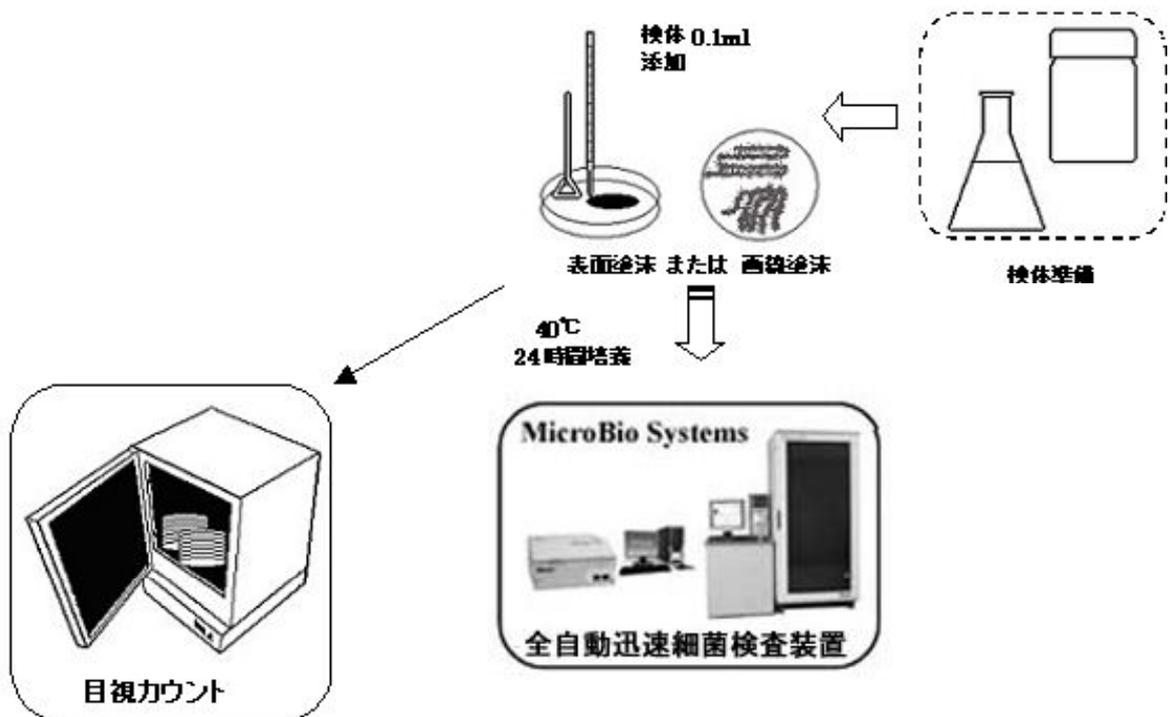
2. 概要

サルモネラは、各種家畜や家禽類の腸管に保菌されていることから食肉、牛乳、卵、淡水魚などを使用した食品が本菌で汚染される危険性があります。サルモネラ・エンテリティディス (*S. enteritidis*) は、卵及び卵製品の食中毒原因菌であることが多いことから、「食品衛生法」では加熱食肉製品及び食鶏卵の殺菌液卵(鶏卵)について陰性であることが定められています。また、養殖業界やペットフード業界においては、飼料の原材料中にサルモネラとシトロバクターが混在していてサルモネラ検出を困難にしていることが問題となっています。

3. 検査の手順 (0.1ml 表面塗抹 または 画線塗抹)

* 20℃以上の環境で、クリーンベンチ等の無菌操作をお勧めします。

- 3-1 塗抹の場合は、検体を培地表面に0.1mlを添加し、スプレッター等で全面に広げ15~20分程度静置させます。画線塗抹の場合は、検体または菌床から白金耳でサンプルを取り出し、培地表面へ目的に合うような画線塗抹をします。
- 3-2 培地は蓋を下にし、40℃で24時間培養します。MicroBio system を使用すれば全自動で速く正確にコロニー数が計測できます。

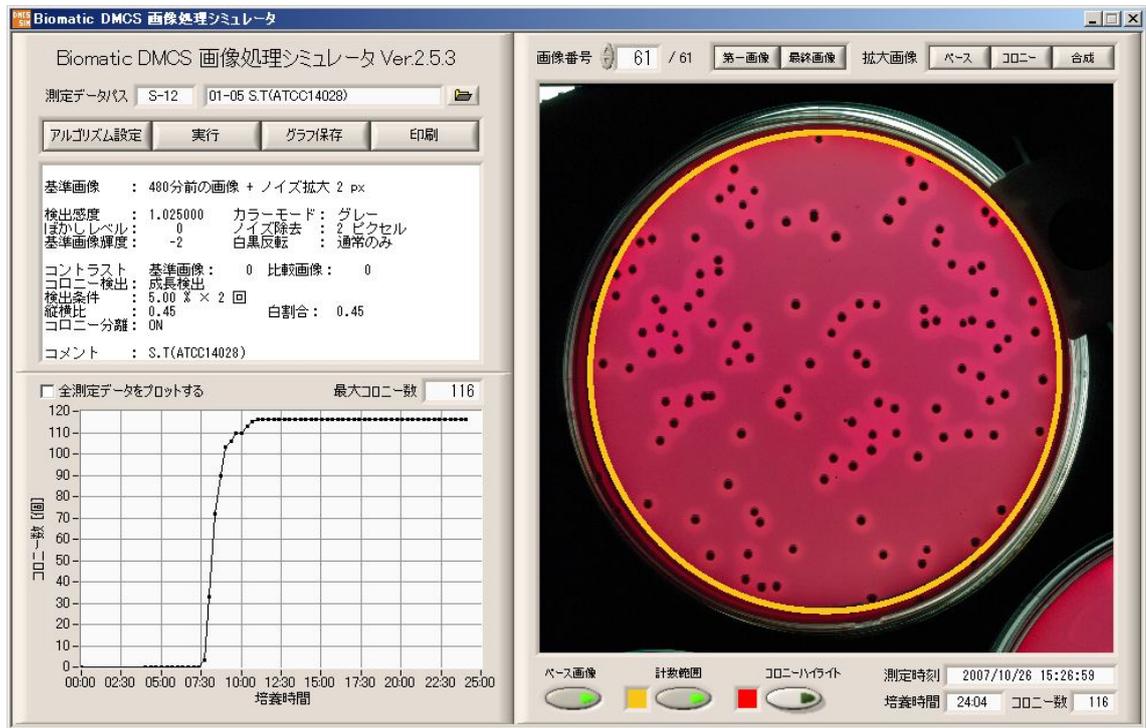


4. 培地の保管方法

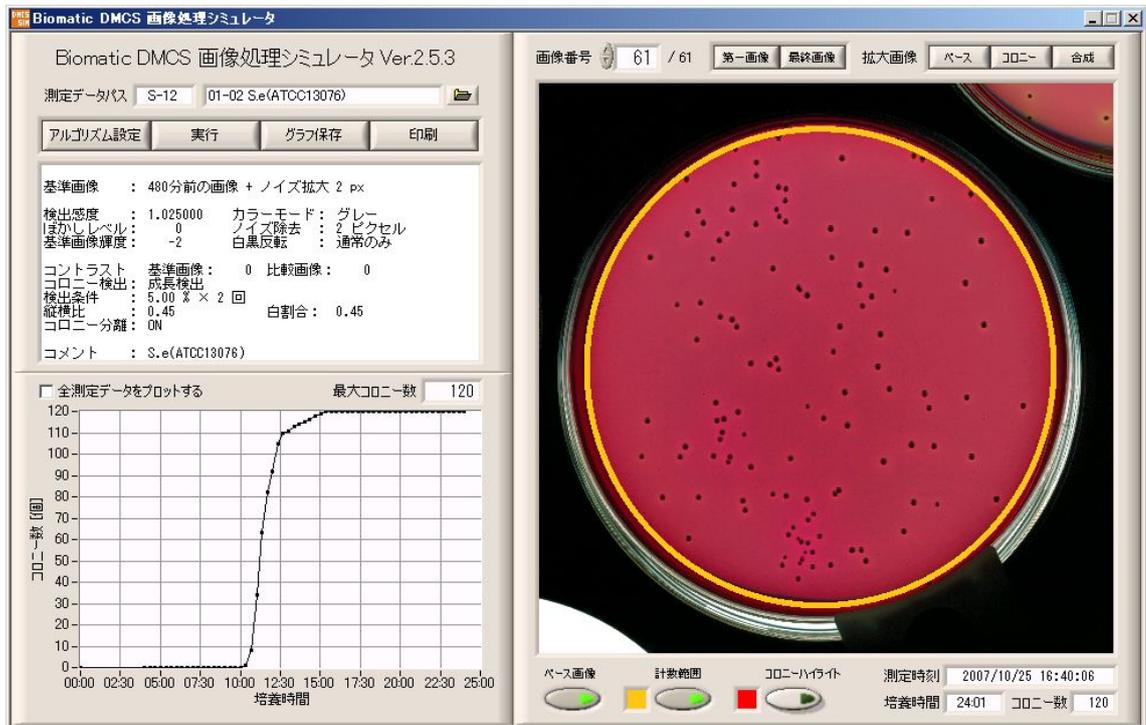
培地は、室温(20℃以上)の暗所で保管して下さい。

5. MicroBio system での測定例

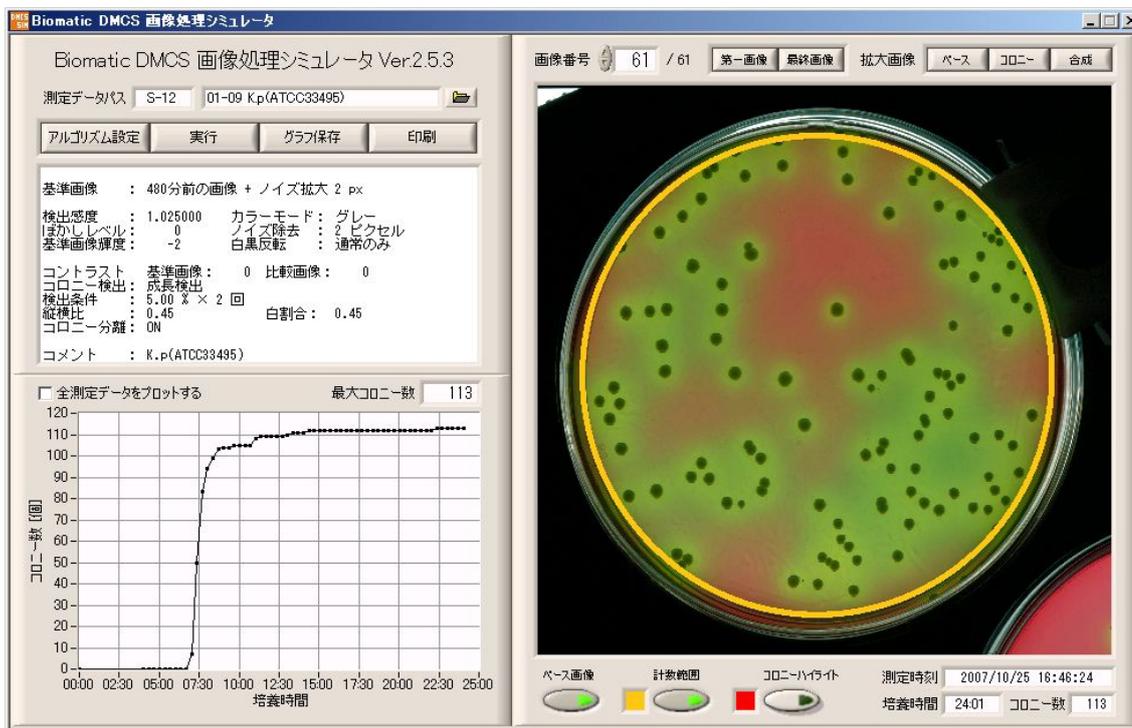
5-1 0.1ml表面塗抹：標準菌株 *S.typhimurium* (ATCC14028)サルモネラのPPM001での発育 [MicroBio systemを使用すれば、11時間で検出確定] 40℃培養



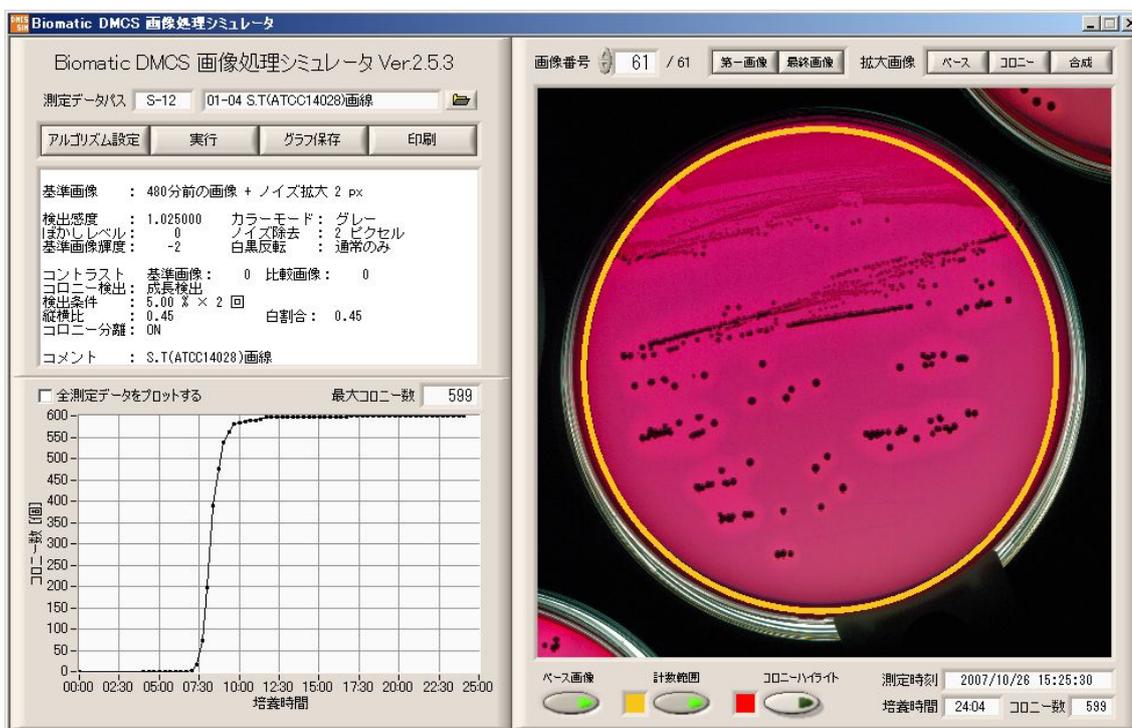
5-2 0.1ml表面塗抹：標準菌株 *S.enteritidis* (ATCC13076)サルモネラのPPM001での発育 [MicroBio system を使用すれば、16時間で検出確定] 40℃培養



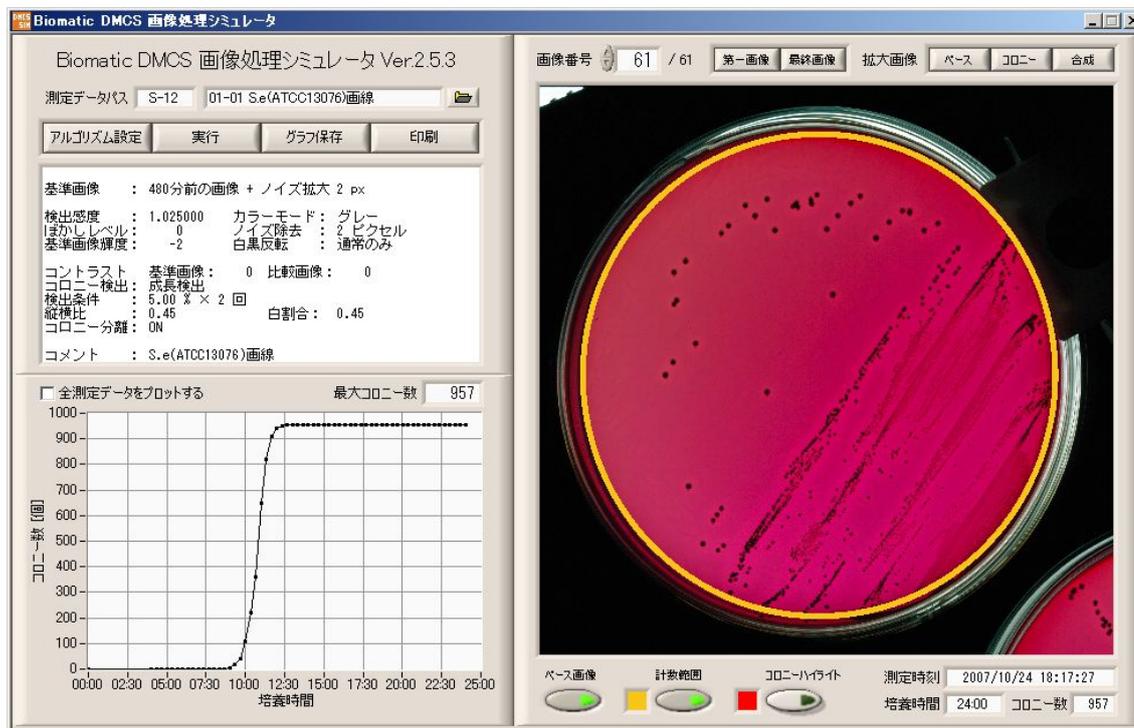
5-3 0.1ml表面塗抹：標準菌株 *K.pneumoniae* (ATCC33495)肺炎桿菌のPPM001での発育
 [MicroBio system を使用すれば、11時間で検出確定] 40℃培養



5-4 画線塗抹：標準菌株 *S.typhimurium* (ATCC14028)サルモネラのPPM001での発育
 [MicroBio system を使用すれば、12時間で検出確定] 40℃培養



5-5 画線塗抹：標準菌株 *S. enteritidis* (ATCC13076)サルモネラのPPM001での発育
 [MicroBio system を使用すれば、13 時間で検出確定] 40℃培養



5-6 画線塗抹：標準菌株 *K. pneumoniae* (ATCC33495)肺炎桿菌のPPM001での発育
 [MicroBio system を使用すれば、11 時間で検出確定] 40℃培養

